

夜間作業への 対策チェック

佐藤渡辺の石井社長
栃木の路面補修パト

佐藤渡辺の石井直孝社長
は建設業年度末労働災害防



現場を視察する石井社長
(左から2人目)

止強調月間に合わせ、2月27日に栃木県小山市の路面補修工事の現場で安全パトロールを実施した。夜間工事もある中で安全衛生管理体制や労働時間、勤務体制が適切であるかなどをチェックした。

パトロールは「R1国分寺管内路面補修他(その3)工事」(国土交通省関東地方整備局発注)で実施した。新4号国道の栃木県小山市中久喜地先と鉢形地先で経年劣化に伴う舗装と排水設備の補修を夜間に行う工事。1日当たりの交通量が約6万台も達するため、一般車両との接触事故対策が求められた。

石井社長は現場の社員から工事で苦労した事例や夜間工事の施工や安全対策、現場環境改善などの創意工夫事例などについて報告を受けた。その後安全訓練記録や安全衛生協議会記録や店社パトロール記録などの安全に関わる検査書類を確認した。

パトロールを終えた石井社長は「現道規制を伴う夜間の舗装工事だが、一般車両からのもらい事故を防止するためのさまざまな対策が取られており、無事故で完成した事は評価できる。このような創意工夫を全国に展開し、事故防止に繋がっていきたい」と講評した。

